

りゅう 竜になったの、だ〜れだ

ちきゅうじょう 地球上にいるさまざまな生き物たち。その「いとおいしくておもしろい」生きざまを、ちょっとのぞいてみよう。こんかい 今回は、なんとりゅうになった生き物の話…!?

たき 滝? のぼ 登れません! でも、すっごくつよ 強い



がつ にっぽん 5月に日本でよく見るものといえば、かしわもちにごがつにんぎょう 五月人形、そしてこいのぼり。子どもの元気な成長を願うこいのぼりは、たき のぼ りゅう 鱈が滝を登り竜になったという中国の言い伝えから始まったそうだが…

「さすがに滝は登れないよ!」

どんなにがんばってもむだ 無駄である、ふかのう 不可能であるという意味の「およ こい たきのぼ 及ばぬ鯉の滝登り」なんてことわざもあるくらい。実はじつ やわ 弱かったのかな?

「いや、そんなことはない!」

たき むり つよ なが ま みず よご 滝は無理でも強い流れには負けない。水の汚れもへっちゃらだし、みず そと すうじかん がまん い の 水の外でも数時間は我慢して生き延びられる。さらに、みずくさ みずくさ かた かい 水草にミミズ、硬い貝まで、とにかくよく食べて大きくなるから、たいちょう 1m を超えることもあるんだ。

そんなコイは「出す」ほうにもとくちゆう 特徴がある。消化が早く、食べて1時間もするとうんちがでちゃうんだって!



にしきごい 別の意味でも「強い」。何がどう強いのかというと、それはねだん 値段。なんとおくえん 2億円で売れたコイがいるんだ! まさに「およ ほうせき 泳ぐ宝石」だね。かいく 外国の人からの人気も「強い」んだって。

滝を登ったのは、ぼくたちかも？ サメというよりサケ!? なチョウザメ

「待って〜！
主役はぼくだ！」

おっと、すごいインパクト。そう、
言い伝えで滝を登ったのはコイでは
なく、「チョウザメ」だったという説
がある。ふむふむ、確かにサメのほ
うが滝を登れそうな気がするね。



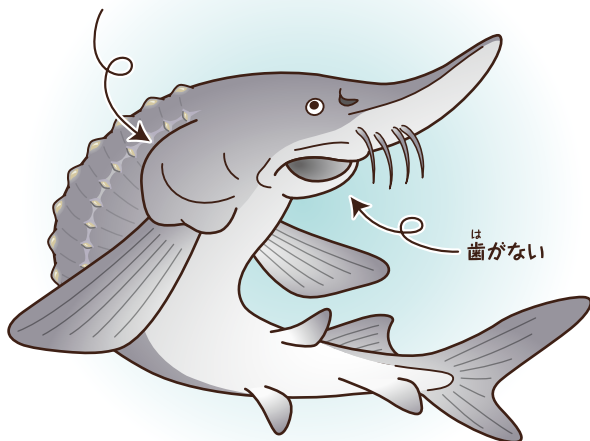
PIXTA



PIXTA

「ううん、ぼくらは
サメじゃないよ〜」

サメにはない
えらふたがある



尾びれの形、口が下にある、大きいものは数 m
にもなるなど、外見はサメに似ているけれど、実は
サケやコイといった魚に近い※。餌である小さな貝
やカニ、エビなどを丸呑みするので歯もない。

さらに、チョウザメも産卵のために川を登る。姿
だって、「生きている化石」と言われるチョウザメの
ほうが、コイよりも竜に近く見えるよね。ひょっと
して、5月には「ちょうざめのぼり」を飾るべきなの
かも!?

(※)サメは魚類だが、骨が柔らかい「軟骨魚類」。サケやコイ、チョウザメ
は骨が硬い「硬骨魚類」に分類されている。

チョウザメは、昔の北海道では竜どころか「神様」だった！アイヌ（昔から北海道に住んでいた民族）の
ことばで、サケと一緒に「カムイチェプ」（神の魚）というカッコいい名前と呼ばれていたよ。